

市政について問う

一般質問 (要旨)

議長・副議長及び監査委員は、その職務の性質上、一般質問を行っていません。

予防医療としての歯科口腔ケア 歯科健診の充実が第一歩

江口 元気 (たちかわ自民党・安進会)



問 最近の研究で、歯周病がさまざまな病気と関係があることがわかっており、市民の健康を守るために歯科口腔ケア事業が欠かせないと考えます。本市の成人歯科健診事業を充実させるため、受診勧奨通知を10歳ごとの節目に送付することや二十歳を祝うついでパンフレットを配ることなどを検討していますか。幼児については、5歳という乳歯から永久歯に替わる大事な時期に健診を行うことでその後の虫歯の数を減らせると考えますが、見解は。

答 成人歯科健診は、特定健康診査等の個別通知を送付する際に受診勧奨チラシを同封するなどして周知に努めています。二十歳を祝うつうの参加者に案内チラシを配布することも今後検討していきます。集団による5歳児歯科健診は現在行っていますが、市内の保育園及び幼稚園で年1、2回の歯科健診が行われているため、5歳児は概ね受診できていると認識しています。今後他市の状況等を調査していきます。

一般質問項目

- ①カーボンニュートラルについて ②歯科口腔ケアについて ③野球場・グラウンドのネットについて ④中央図書館の自習スペースについて

二次元コード

ホームページ上の各議員の質問動画にアクセスできます。

マーカー部分

用語解説や写真・イラストを掲載しています。

子どもの医療費助成 所得制限・自己負担の撤廃を

山本 みちよ (公明党)



問 8月の定例記者会見で発表された高校生年代への医療費助成事業について、どのような形で開始するかお示しください。都は、3年間は10分の10の補助を行うとしていますが、その後はどうなりますか。また、本市の義務教育就学児の医療費助成制度には、所得制限と200円の自己負担がありますが、都内では所得制限や自己負担なしで実施している区や市もあります。この所得制限と自己負担額を早期に撤廃すべきと考えますが、見解を伺います。

答 高校生等への医療費助成は、都が令和5年度から開始する事業です。一定の所得制限のもと、自己負担額200円を除いた医療費を助成するもので、本市では4月1日から始まります。令和8年度以降の財源は、今後、市区町村と都との協議の場が設けられます。所得制限と自己負担額の撤廃は、令和5年度経営方針において検討事項として定めたとおりであり、令和5年度当初予算編成の中で詳細をまとめていきます。

一般質問項目

- ①子育て支援について ②いつまでも安心して暮らせるまちづくりについて ③投票率向上を目指して



シルバー大学

高齢者の生きがいづくりとして60歳以上の市民を対象に、教養、芸術、文化、スポーツなど幅広いジャンルの講座を、柴崎福祉会館にて開催している。受講者が、変化する社会に順応できる能力を身につけ、積極的に地域社会と関わりを持ちながら、明るく健康的な生活を営むことを目的としている。

高齢者のニーズの変化 80歳へ繋げる元気な施策を

伊藤 大輔 (たちかわ自民党・安進会)



問 シルバー大学のスマホ講座は人気があり、抽選のため落選者が出ています。ニーズに応えるため、講座回数を増やすなどの検討をしていますか。社会情勢の変化により、高齢者の生きがいや生活が変化しています。ニーズの変化に合わせ、市は意欲ある70代を元気な80歳へ繋げる施策の強化を考えるべきです。限られた予算内での優先事業について、今一度整理する必要性を強く感じますし、予算のあり方も真剣に考える必要がありますが、見解を。

答 シルバー大学のスマホ講座には定員を超える応募があったため、現在、本年度中に実施する講座の回数を増やす方向で検討しています。高齢者のニーズが変化してきている状況は認識しており、ニーズを的確に把握し、対応する必要性を感じています。今後も事業の対象者の意向を踏まえながら、予算を効果的・効率的に活用する方策を検討し、高齢者等の豊かな暮らしにつなげていきたいと考えています。

一般質問項目

- ①立川市の教育行政について ②社会の変化と高齢者施策の進化について

中学生の平和学習・広島派遣 参加人数の拡充を

伊藤 幸秀 (公明党)



問 コロナ禍で中止されていた中学生の平和学習・広島派遣事業が3年ぶりに実施され、大変嬉しく思っています。原爆ドームや平和資料館等を訪れた際の、大人と子どもの感じ方の違いを非常に強く実感しており、若い世代が被爆、原爆の実相に触れることに意味があると考えます。現在は各学校から代表1名の参加となっています。せめて男女1名ずつの2人ぐらいに、事業を少し拡充してもらいたいと考えますが、市の見解を伺います。

答 平成30年度から開始した本事業は、3年ぶりとなる今年度も、市立中学校の代表生徒、計9名が参加し、1泊2日の行程で実施しました。参加した生徒は、原爆、戦争の悲惨さや平和の大切さについて主体的に学ぼうという姿勢が見られ、今後の成長過程で大切なことを学んだものと確信しています。生徒を安全・安心に引率していくためにも、適正な参加人数について引き続き検討していきたいと考えています。

一般質問項目

- ①立川駅北口周辺の環境について ②公共施設のWi-Fi整備について ③感染症ワクチン接種について ④中学生平和学習・広島派遣事業について ⑤体育施設の管理運営について

働き方改革 現場はどう改善したか

糸川 敏男 (たちかわ自民党・安進会)



問 ストレスが多いと言われる現代社会において、心の病や、過労による病気や体の不調ということが身近にあるように思います。働きやすい職場、環境をぜひ実現してほしいと考えています。平成31年に、立川市学校における働き方改革総合プランが策定されたことで、学校の現場がどのように変わったのか注目しています。現在までにどのような進捗がありましたか。また、今後は働き方をどのように改善していくのか、お示しください。

答 平成31年度以降、タイムレコーダーの導入、学校事務の共同実施、時間外における校内電話の自動音声対応、校務支援システムの導入、年次有給休暇の積極的な取得、オンライン会議・研修の実施等に取り組んでいます。そのほか、副校長補佐の配置も行っています。今後も、現在行っている人的支援の継続、会議や教育課程の見直し、ICTによる業務効率化等により、時間外労働時間の減少に努めます。

一般質問項目

- ①若葉町まちづくりワークショップの結果、未来に向けて ②労働環境「働きやすい職場、環境とはなにか」 ③立川市議会議員選挙の振り返り

競輪場の施設改修 修正計画の詳細は

わたなべ 忠司 (立憲ネット緑たちかわ)



問 競輪場の第2期施設改修工事についての修正計画が令和3年12月に示されました。その後、地元説明会も行われ、改修イメージの写真が競輪場周辺に貼り出されています。それを見た地域の方からさまざまな反応を聞いていますが、改めて修正箇所をお示しください。また、現行の機能と比較して、今回の修正計画による懸念事項があれば、お示しください。工事開始まで1年近くありますが、地域への周知と安全な工事計画をお願いします。

答 修正計画は、当初計画のコンセプトとゾーニングを維持しつつ、新築建築物を大幅に抑制し、総事業費内に収めるよう見直しました。具体的には、センターコートは新設せず、開催エリアと市民開放エリアをフレキシブルに区分できるようにします。施設をコンパクトにして運営することで開催経費を削減することができ、より効率的な運営ができると考えています。現時点で大きな懸念事項はないと考えています。

一般質問項目

- ①会計年度任用職員について ②競輪事業の将来像